
笑いながら走った

ユーヨ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

笑いながら走った

【著者名】

コーラ
N4823C

【あらすじ】

罵倒女と馬鹿男の、馬鹿な話。「防弾だらうが強化だらうが纖細なんだよー。」

「死ね死ね、死んじまえ！お前なんて死んでしまええ！」
と、この女に何度も言われた事か。最初のうちは、応戦して「うつせ
え！」とか「しつこいんだよおお！このクソガキがああ！」等と言
葉の砲煙弾雨を繰り広げていたが、最近は面倒になってきたので、「
なんでそんなひどい事毎日言うんだよ？俺はなあ、ぶつ壊れやす
いガラスのよーな心の持ち主なんだよ。そんな事ばっかり言つて
る、すぐにでも俺の心が崩壊して廃人になるぞー！」
なんて質すと

「防弾ガラスだろ」

そう冷笑しながら言つてまた俺の纖細な心に傷をつける。

「防弾ガラスでも強化ガラスでも纖細なの！ガラスってのは何でも
纖細なの！」

「纖細じやねーよ。銃弾くらつても平気な顔してんじやねーかよ、
奴等は」

「つっせえー言つたじやねーよー頑張つてんの、彼等は！」

まあ最終的には、言い争つてしまつ。しかも毎回妙な敗北感までつ
いてくる。

そこで今回は思慮を凝らして、驚かす作戦を決行した。

パンツ、と軽い音がして背中に痛みが走る。

「痛つてええ！何すんだよいきなり！」

「防弾ガラスだろ」

ガキの手にはエアーガンが握られている。顔には笑みが浮かんでい
る。本当に死んでほしいと思つてしまつた。

だが、作戦を遂行させるために、怒らずに真摯な顔つきで言つ。
「実は今まで黙つていた事があるんだが……」

「何？」

びっくりさせてやる。驚かしやる。だが、またそのHアーガンで俺を狙撃するそうな事があつたなら、今日こそ殴つてやる。モンゴリ

アンチヨップを炸裂させてやる。

「実は前からお前の事が好きだった……」

虚実を吐く。

「……本当?」

「ああ、本当だーお前、『love-つおおおー』

虚実を吐きながら突進。腰あたりに抱きつきながら倒れ込む。

「……」

手首を掴んで自由を奪うてこない。妙にしおらしい。おかしい。俺の手をじっと見つめて動かない。頬が紅潮している。まるで、俺を受け入れているようだ。

「……別にいいよ…痛くしないでね…」

俺はにやつきながら、

「いいのか? やつても?」

「……いいよ」

拘束していた手首を放したがやはり抵抗はしなかつた。俺はむりにやつきながら、『』の両手を空にかかげて思いっきりに、

「痛!??

クソガキの鎖骨にめがけて打ち下ろす。

「気持ち悪いんだよ! 何が『……いいよ』だよ! 気持ち悪い!」

「……このお、馬鹿あああ!」

逃走する俺の背中にBB弾がヒットしまくるが、今日は初めて勝利した気分になつた。

痛かったが、笑いながら走つていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4823c/>

笑いながら走った

2010年12月29日02時01分発行